

津田中だより



第6号

枚方市立津田中学校
令和8年8月25日
発行 校長 田中 博

自他敬愛

仲間との力を 集結させよう！



夏休みもあっという間に終わり、2学期が始まりました。2学期は1番長い学期で、1学期から取り組みを始めていたカルスポ祭文化の部や体育の部も本番をむかえます。その他にも学年毎の行事などもいっぱいです。

一つひとつの行事を素晴らしいものにするためには、集団でのまとまりや協力が欠かせません。行事に向かって進めていく間には、仲間と意見が食い違ったり、思うように上手くいかなかったりすることも多く出てくると思います。しかし、そんな時には自己主張ばかりせず、「人の意見や考え方はみんなそれぞれ違って、それを認め合う」ことを大切にして気持ちを一致させ、協力すること、粘り強く取り組むこと、励まし合うことを意識して取り組みを進めてください。仲間の力が一つになったときには、きっと素晴らしいものができあがっているでしょう。

2学期、新たな目標の設定を！（目標を持つことの大切さ）

目標を持っていることと、持っていないことの差は大きいものがあると言われています。目標を持つことはモチベーション（動機付け・意欲・やる気）を維持するためにも非常に大切なことです。



目標を持てるかどうかは、何かを達成できた時の達成感につながります。最終的な大きな目標が明確であればあるほど、それにつながる小さな成功にも満足することができ、達成感を得ることができます。もし、最終的な目標が明確になっていないと、結局のところ小さな成功はその時だけのものとしてとらえてしまい、自分がどんな一歩を積み重ねたのか理解できず、不満が募りやすくなります。現状に満足できていないと、こんなことをしても意味がないとか、少しでもつらいと感じた時に、それでも頑張ろうという意識がそがれてしまいます。この状態に陥ると、せっかく意味のあることを成し遂げているにもかかわらず、自分自身でそのことを過小評価し、結局途中で投げ出してしまうという中途半端な状態に陥りかねないことになってしまいます。



9月1日は、1923年に関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあります（今年は8月から台風が多く発生していますが...）。また、1959年9月26日には「伊勢湾台風」があり、その被害は戦後最大のものでした。このことがきっかけとなり、1960年に、災害に対する心構えなどを育成する目的で、9月1日が「防災の日」と制定されました。7月には熊本で大きな地震もありました。日本は自然豊かな国ですが、地震や台風の被害も多い国です。防災の日をきっかけに、あらためて災害について意識し備えを万全にしてほしいと思います。

津田中学校校区にも、急傾斜地の土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域に指定されているところがあります。土砂災害を引き起こす主な原因は、降雨です。気象情報等に注意して早めに避難することが大切ですので、普段から右のような土砂災害の起こる兆候への意識も高めておきましょう。

- 山鳴りがしたり、立木の裂ける音がしたりする。
- 雨が降り続けているのに、谷川の水の量が急に減っていくとき
- 谷川の流が急に濁ったり、流木が混ざり始めたとき
- がけや地面にひび割れができたとき
- がけから急に水が湧き出てきたとき
- がけから小石がバラバラと落ちてきたとき
- 地面の一部が急に落ち込んだり、盛り上がったとき
- 石垣や擁壁が、ずれたり、割れたりしたとき

（枚方市 HP より）



夏休みが終わり、2学期が始まると楽しい学校行事ばかりではありません。特に3年生は、進路決定において大切な学習に取り組む時期となり様々なテストがやってきます。一つひとつ目の前のテストに力いっぱい全力で臨んでください。1、2年生も夏休みの学習の成果を授業やテストにしっかり出しましょう。

8月26日(水) 第1回実力テスト(3年)

9月 2日(水) 大阪府チャレンジテスト(3年)

9月24日(木) 中間テスト(全学年)

9月25日(金) 中間テスト(全学年)

